

## 沖縄県の歴史・文化を学びました。

2025年2月28日から3月2日にかけて、教育心理学ゼミと合同で沖縄県へフィールドワークに行ってきました。このフィールドワークの目的は、沖縄県の歴史・文化を体験的に学ぶことでした。

前日は、名古屋市にある JICA 中部なごや地球ひろばを訪問しました。国際支援の経験をもつ職員の方から、海外の教育事情、文化的背景が異なる人びとの協力の在り方について学びました。

フィールドワーク初日は那覇市に到着後、古くから沖縄の人びとの信仰を集めてきた波上宮に参拝しました。波上宮は隆起したサンゴ礁でできた崖の上であり、崖の下的那覇市唯一のビーチにも立ち寄りました。沖縄特有の地形、美しい海を観察することもできました。次は、バスで北上し、古宇利島のオーシャンタワーを見学しました。美しい海はもちろん、古宇利島の展示パネルから島の人びとが守り、受け継いできた祈りや祭りの文化を知ることができました。最後は、美ら海水族館でジンベエザメ、マンタをはじめとする沖縄の海の生き物を観察しました。

二日目は、南城市の斎場御嶽を訪問しました。斎場御嶽は琉球王国最高の聖地とされ、多くの人びとから崇拝されています。深い森の中にある石畳の参道を歩きながら、拝所をめぐり、久高島を遥拝しました。神聖な空気を肌で感じることができました。斎場御嶽の近くには知念岬公園があり、真っ青な海と空を眺めました。その後は、おきなわワールドを訪問し、鍾乳洞の探索後、シーサーの絵付けを体験し、沖縄料理を堪能しました。「タコライス」、「うみぶどう」が好評でした。午後は那覇市にもどり、首里城を見学しました。首里城では、復元工事の一部を見学し、展示資料から使用されている木材や技術について学ぶことができました。学生たちは、とりわけ、城壁の曲線の美しさに感動していました。また、東のアザナ(展望台)から首里城全体、那覇市内を眺めた時には、周辺の大学や学校等の屋根に沖縄の伝統的な赤瓦が用いられていることが印象的だったようです。夕食は昨日と同じく、沖縄料理でしたが、この日は「島らっきょう」、「ジーマーミ豆腐」、「グルクンの唐揚げ」等、はじめて食べる食材・料理も多く、沖縄の食文化を体感することができました。また、全員で「島人ぬ宝」を歌ったことも楽しい思い出になりました。

沖縄の豊かな自然、人びとが大切にしてきた文化を体感するとともに、ゼミ生の仲も深まった楽しいフィールドワークになりました。



